

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

- イ 優勝おめでとうございます。
- 選 ありがとうございます。
- イ 今のお気持ちを願います。
- 選 そうですねえ。優勝できてうれしいです。
- イ 試合にはどんな気持ちで臨みましたか。
- 選 そうですねえ。絶対勝ちたいと思っていました。
- イ 今後はどのように。
- 選 そうですねえ。二連覇目指してがんばるんで、応援よろしく願います。
- イ がんばってください。お疲れ様でした。
- 選 ありがとうございます。

イⅡインタビュアー

選Ⅱ選手

ほとんど何も聞いていない、ほとんど何も答えていないインタビュアーだ。なごやかに言葉を交わしているのは確かだから、インタビュアーの内容は二の次で、選手の声が届きたい、選手の笑顔が見たいというファンには、これでよいということなのだろう。

常にプロのスポーツジャーナリストがインタビュアーするわけではないから、そうでないインタビュアーの場合、鋭い質問はできない、難しいことは自分もわからない、ということもあるのだろうが、インタビュアーの中には、本当に試合を見たのかと疑いたくなるくらい、何も聞かない人がいる。そのスポーツのことも選手のこともよく知らずに、結果だけ聞いてその場に赴いた素人でも言えそうなことしか言わない人が、実際にいるのだ。

「素晴らしいホームランでした。」

「ナイスゴールでした。」

「試合を振り返ってください。」

「これで一勝一敗一引き分けとなりましたが、三試合を総括してください。」

「ファンのみなさんに一言。」

「次の試合への抱負をお願いします。」

ここには、選手へのまともな問いが一つもない。試合を見ている最中に、この場面のこの動きについて選手に聞いてみたい、と思うことが何度もあったはずだ。それも、「あのときはどう思いましたか。」などという漠然とした質問ではなく、もっと具体的に問いを立てる。試合を見ながらインタビュアー自身が疑問に思ったことをぶつけるという形の質問は、禁じられているのだろうか。

右の例のようなインタビュアーの言葉は、選手に的確な質問をしてその答えを求めているのではなく、ほとんど丸ごと語らせようとしている。「ナイスゴールでした。」には「どうも。」とだけ言って知らん顔をしてもよさそうなのだが、日本の選手たちは総じて性格がいいから、決定打となったシュートの経緯を丁寧に説明してくれる。「それはどういう意味ですか。」「それって質問ですか。」などと聞き返す選手はまずいない。皆、優しいのだ。

しかし、これではインタビュアーは育たない。インタビュアーは優れたジャーナリストでなければならず、ジャーナリストとは、言葉を使って真剣勝負する人間だ。スポーツ選手は身体と頭脳と精神力で真剣勝負している。そのような選手たちの前に、言葉もあまり使わないで真剣勝負もしない者がインタビュアーとして登場するのは、選手たちに失礼ではないのか。

インタビュアーには、準備の時間が十分に与えられているはずだ。疲労の極みであろうに、試合直後に愛想よく話をしなければならぬ選手たちとは違うのだ。サッカーの試合後のインタビュアーなら、準備のための時間は、少なくとも一時間半ある。しっかりと準備をして臨むことができる。「試合を振り返ってください。」などと、アナウンサーや解説者の仕事を選手に押しつけてはいけない。そんなことをしては、インタビュアーとしての矜持が台無しだ。「あなたはあそこであのようなことをしたが、あれは作戦だったのか、それともその前の小さなミスをかバーするための苦肉の策だったのか。」というような質問があまりないのは、時間的制約のせいだ。勝利に水をさすようなコメントは避けたいということもある。皆、優しく、遠慮がちなのだ。相手を不愉快にさせてはいけないと思っ

ている。人としての優しさや遠慮はもちろん美德だが、このような場面ではどうなのか。少なくとも、真剣勝負にはならない。和気あいあいと終えるか、真剣に勝負するか。選手とインタビュアーの言葉の応酬も、言ってみれば戦いだ。そして、真剣に勝負することが、インタビュアーに応じる選手と、インタビュアーを聞く観客への誠意と敬意の表れなのではないかと思う。

(野口恵子『バカ丁寧化する日本語』による)

*注 矜持——プライド。

（灘教育研究所）

問一 —— 線部1「二の次」とありますが、この言葉のここでの意味を答えなさい。

問二 —— 線部2「ジャーナリストとは、言葉を使って真剣勝負する人間だ」とありますが、そのようなジャーナリストがスポーツ選手に対してするべき質問とはどのような質問ですか。これより前の問題文中から四十字以内の適当な表現をぬき出し、始めと終わりの五字で答えなさい。

問三 —— 線部3「アナウンサーや解説者の仕事を選手に押しつけてはいけない」とありますが、「アナウンサーや解説者の仕事を押しつけて」とはどういうことですか。問題文中の言葉を用いて、二十五字以内で答えなさい。

問四 —— 線部A「ジャーナリスト」は、「新聞・雑誌・放送などの、編集者・記者など」のことを表しますが、このように、「リスト」という形で、次の1〜5の意味になる外来語をそれぞれ答えなさい。最初の一字は、（ ）内に指示されたものとします。

- 1 芸術家（ア）
- 2 利己主義者（エ）
- 3 随筆家（エ）
- 4 その道でのすぐれた能力・技術の持ち主（ス）
- 5 夢見がちな人（ロ）

問五 —— 線部B「水をさす」とありますが、「水」を使った表現にはいろいろなものがあります。次の1〜5の（ ）に適当な言葉を補って、文を完成させなさい。

- 1 優勝争いで、ライバルに大きく水を（ ）られてしまった。
- 2 演奏前の一瞬、場内は水を（ ）たように静まり返った。
- 3 犯人逮捕のため、水も（ ）ぬ厳戒体制がとられている。
- 4 昔のことは水に（ ）て、おたがいに協力することを約束した。
- 5 入団の意向があるのかどうか水を（ ）てみると、彼は話に飛びついてきた。

二 次の1〜4の文の —— 線部の「の」と、言葉の使い方の上で同じものをそれぞれ後のア〜エから選び、記号で答えなさい。

- 1 今日のおやつは何だろうな。
 - 2 その本は私のですよ。
 - 3 顔色がわるいけど、どうしたの。
 - 4 子どものよろこびさうなお土産を買ってきた。
- ア 採点用のペンは、赤い色を使ってください。
- イ きのは何時間勉強したの。
- ウ 山の上まであと一息だ。
- エ 天気の良い日は、気分も晴れやかだ。

三 次の1〜5には、「いらいら」「もじもじ」のように、「ABA B」とくり返してできた言葉が入ります。それぞれ最も適当なものを、後の「A」・「B」の字を組み合わせ、「ABAB」の形で答えなさい。「A」・「B」ともに、一度使った字を別の言葉に使ってはいけません。（例）で使った「も」と「じ」を使うこともありません。

- （例）はじめは（ ）していた子どもたちも、すぐに仲良く遊びはじめた。 答え—もじもじ
- 1 負けて（ ）と引きあげる選手たちがあわれだった。
 - 2 上司や先輩にも（ ）とものを言いすぎてきられる。
 - 3 他人の目を気にして（ ）してもしかたがないよ。
 - 4 間違い電話がくり返しかかってきて、（ ）した声をあげてしまった。
 - 5 何不自由なく（ ）と育ってきたので、逆境に弱い。

- 〔A〕 こ、し、ず、と、ぬ、も
- 〔B〕 お、く、け、げ、じ、せ

四 次の1〜4の各組のa・b・cには、同じ読み方の二字熟語が入ります。それぞれ最も適当なものを答えなさい。読み方は後の「語群」から選びなさい。

- 1 a 裁判官は、常に（ ）でなければならない。
- b 彼は大きな仕事をして（ ）に名を残した。
- c 全体の（ ）を考えて文章を書くことが大切だ。
- 2 a 温暖な（ ）の土地。
- b 今回の旅行についての（ ）文を書く。
- c 新庁舎の（ ）式が行われる。
- 3 a 新しい機械を導入し、（ ）性の向上をはかる。
- b 降りるときに運賃を（ ）する。
- c 今度の試合に勝つ（ ）はありますか。
- 4 a ふるさとに（ ）する。
- b 試合の前に、選手たちの（ ）があがっている。
- c 大変な人出で、交通（ ）がかけられている。

〔語群〕 キコウ、キシヨウ、キセイ、コウセイ、セイサン

五 次の1〜5の二つの（ ）に、それぞれ反対の意味になる漢字を入れて、四字熟語を完成させなさい。

- （例） 「同」と「異」を入れて、「同工異曲」
- 答え 「同」と「異」を入れて、「同工異曲」
- 1 空（ ）絶（ ）
 - 2 起（ ）回（ ）
 - 3 （ ）耕（ ）読
 - 4 （ ）船（ ）馬
 - 5 （ ）往（ ）往

さくらの個別指導 (さくら教育研究所)

次の1〜5の短歌の()に入る季節(春・夏・秋・冬)として、最も適当なものをそれぞれ答えなさい。

- 1 () きたる野の木野の草限りなく衰おとろうるものに美しさあり
窪田空穂
- 2 鳴く虫の気管の中に吸われゆく() の空気をわが肺も吸う
中村規子
- 3 新治にいじの野にカッコウの声響ひびき青き衣ころもの() は来きにけり
田中拓也
- 4 みかんむく指さえ意志を持ちおりてせつなきまでに() 静かなり
吉沢あけみ
- 5 枝の雪ちらし飛び去る目白めじろ一羽かすかに覚おぼゆ() の気配を
吉田正俊

七 次の「条件」に従って、後の1〜4の漢字のしりとりを完成させなさい。

3

〔条件〕

- (1) A・B・Cには、「各・閣・格」のように、同じ音読みで共通した部分を持つ字が入ります。
- (2) ①・②に入る字は、「①・②の選択肢」から選びなさい。

(例) [A] 社 | 社内 | 内 [B] | [B] ① | ① 会 | 会 ② | ② C | C 別

〔①・②の選択肢〕 員・議・合・集・談・面

答え A 各 B 閣 C 格 ① 議 ② 合

- 1 重 [A] | [A] ① | ① 意 | 意地 | 地面 | 面 [B] | [B] ② | ② 功 | 功 [C]
- 〔①・②の選択肢〕 故・好・成・大・任・年
- 2 [A] 急 | 急 ① | ① [B] | [B] 心 | 心外 | 外 ② | ② [C] | [C] 技
- 〔①・②の選択肢〕 気・見・行・追・野・用
- 3 [A] 国 | 国外 | 外 ① | ① [B] | [B] 長 | 長短 | 短気 | 気絶 | 絶無 | 無 ② | ② [C] | [C] 気
- 〔①・②の選択肢〕 交・残・視・出・部・念

Examination number input box

解答に字数制限のある場合、句読点などの記号も字数に数えます。

二		問五					問四					問三	問二	問一		
1		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1					
2							口	ス	エ	エ	ア					
3																
4		(て)	(て)	(ぬ)	(た)	(られ)										

七

3	2	1
A	A	A
B	B	B
C	C	C
①	①	①
②	②	②

六

1
2
3
4
5

五

5	4	3	2	1
			起	空
往	船	耕		
			回	絶
往	馬	読		

四

4	3	2	1
a	a	a	a
b	b	b	b
c	c	c	c

三

5	4	3	2	1